

愛知県立城北つばさ高校 夜間部で防災講座を行いました

令和6年2月16日（金）、愛知県立城北つばさ高等学校 夜間部で1年生17名に防災講座を行いました。学校の近くには、庄内川や矢田川が流れています。

講座では、名古屋市に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風や東海豪雨など過去に発生した水害などを学び、VRによる浸水疑似体験で水害の恐ろしさや明るいうちの早期避難、ハザードマップの確認など備えの重要性について理解を深めて頂きました。また、堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験では、皆さん興味津々に行っていました。

講座を通して、「家に帰ったら家族と話し合いたいと思った」「浸水などは怖いのでできるだけ早く逃げたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

また、今回が今年度最後の防災講座でした。今年度は55校、約3,800名に受講して頂き、令和元年度からの累計は延べ97校、約6,500名となりました。受講した皆さんの防災意識向上の一助になっていれば幸いです。

